

## 利尻山の火山活動解説資料（平成24年5月）

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気などの表面現象の状況（図1-①、図2～3）

2日に北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。目視による観測では噴気は確認されず、赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による観測でも地熱域は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

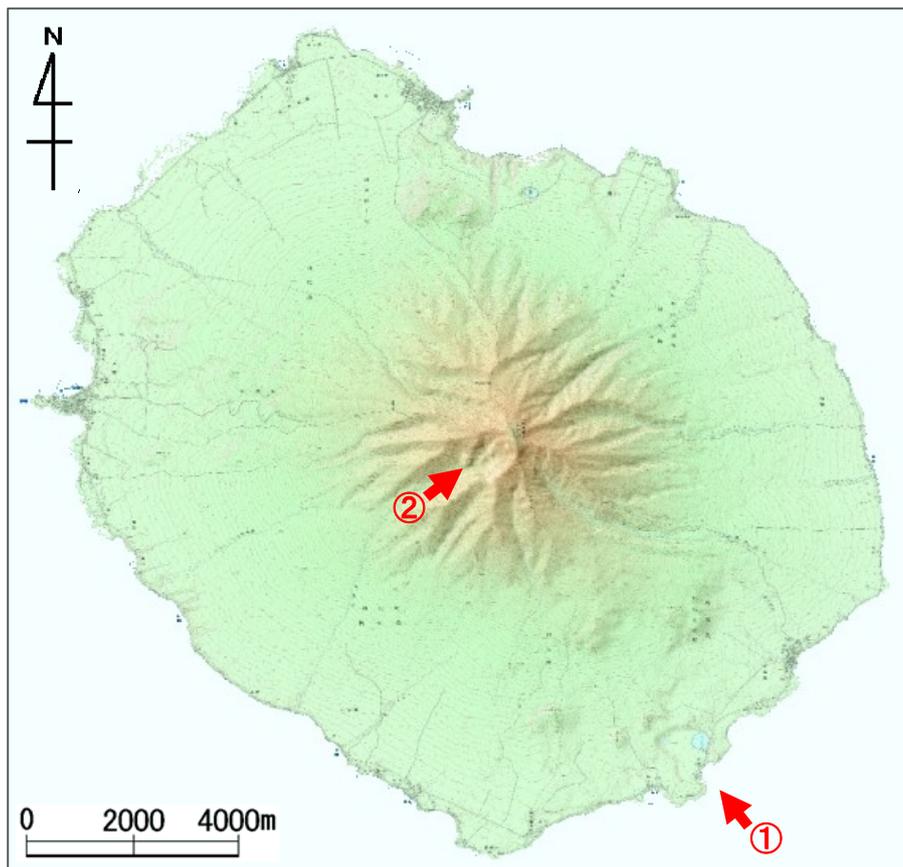


図1 利尻山 上空からの赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。また、同院発行の『数値地図25000（地図画像）』を複製していません（承認番号 平23情複、第492号）。



図2 利尻山 全景  
南東側上空（図1の①矢印方向）から撮影



図3 利尻山 山頂付近の状況  
南西側上空（図1の②矢印方向）から撮影